伸ばせ
自分“力”

FIT Interview book 2018

先輩たちのリアルトーク

FIT Fukuoka Institute of Technology 福岡工業大学

伸ばせ 自分“力” vol.1

情報工学部
情報工学科 4年
（福岡工業大学短期大学部 情報メディア学科より編入）

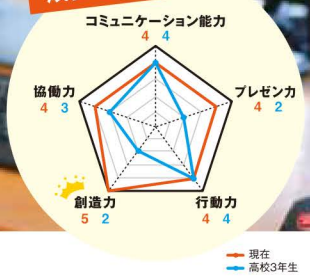
北園 祐奈さん
（長崎県 鳴滝高校 出身）

株式会社ぐるなび 内定

柔らかい語り口の北園さん。自分たちで制作したアプリの話になるとイキイキとした表情でしっかりと話をする姿がとても印象的でした。

「プログラミングを勉強したい」との思いで
進学した短大で、自分の夢を見つけた北園さん。
将来に生かせる知識と技術を身につけるため、
短大から大学への編入を決意。
短大・大学でどんな経験をしたのか聞きました。

成長実感チャート



短大から大学へ編入し、WEBエンジニアの道へ！

仕事に活かせる専門知識を身につけたい！その思いが大学編入への原動力に。

福工大短期大学部への進学を決めたきっかけは何ですか？

高校は普通科でしたが、プログラミングに興味があり、情報系の短大進学を希望。福工大短大は設備が充実していることを知り、オープンキャンパスに参加しました。オープンキャンパスでは先生方とじっくり話をすることができ、「女子カフェ」というイベントでは女子学生の先輩に、ホームページ等ではわからないいろいろな話を聞くことができて、とても参考になりました。

短大から大学への編入を希望した理由は？

最初は短大を卒業して就職しようと思っていました。でも、プロジェクト学習などでプログラミングを学ぶにつれ、仕事として働けるレベルの専門的な知識を身につけたい！という思いが強くなり、1年次の後期から大学編入へ進路を変更。幸い、必要な単位も入学当初から編入を希望している学生たちと同じくらい取得していたので、スムーズに編入の道へ進むことができました。

ゲーム作りの経験がWebエンジニアへの夢を叶えた。

制作イベント「大八耐」に参加して刺激になったことは？

他大学や企業の方と一緒にプログラミングやゲーム制作ができるイベント「大八耐」のことを知り、早速1年次から参加。チームで力を合わせてやり遂げることの大切さなど、自分の中でも成長を実感しました。
この経験をもとに初めて作り上げたのが、小学校低学年を対象にしたスマホアプリゲーム「ウソズキン」です。小学生にもわかるゲームにするため、漢字の習得状況や色フォントの読み易さを調査。ゲームする人の生活背景や心理を理解して作ることの大切さを学びました。

短大・大学での学びは就職にも活かされましたか？

学んだプログラミングの技術を活かす道としてバックエンドエンジニア※を目指し、就職活動を進めました。面接で大八耐の経験をお話すると、皆さんとても興味を持ってくださり、自信を持ってアピールすることができました。内定をいただいた会社では即戦力として活躍できるよう、スキルアップしていきたいと思います。

福工大短大で年に一度開催される「大八耐」。プロのクリエイターやエンジニア、IT企業が集って8時間制作を行う。

初めて作ったスマホアプリゲーム「ウソズキン」。子どもたちがみんなで楽しめる人狼ゲームを作りました。

FIT Support

短期大学部からの大学編入決定率は100%!

短期大学部で2年間の実践的な学修を経て、4年制大学へ編入することも可能。福岡工業大学はもちろん、難関の理系国公立大学を含む様々な4年制大学への編入を実現しています。

国公立大学 10名（九州工業大学、佐賀大学、豊橋技術科学大学ほか）	福岡工業大学 25名
	その他私立大学 28名（神戸芸術工科大学、久留米工業大学ほか）

※バックエンドエンジニア：サーバーやデータベースなどサイト内部を担当するエンジニア

※この冊子のすべての記事は2018年9月に取材したものです。

伸ばせ 自分"力" vol.2

工学部
電気工学科 4年
立石 雄貴さん
（長崎県 西陵高校 出身）

日本アイ・ビー・エム株式会社 内定

もともと人と話をするのは好きだったという、社交的な立石さん。大学の留学プログラムをはじめ、オーストラリアへの行き当たりばったりの一人旅などにチャレンジ。

エンジニアになるための学びと海外留学。2つの夢を抱き福工大へ進学した立石さん。夢実現に向け、国際交流サークルに参加し、語学力アップにも力を注いだ立石さんに話を聞きました。

留学、国際交流etc…積極的な挑戦で世界へ飛び出せ！

グローバルな舞台で活躍できるエンジニアを目指して。

福岡工業大学への進学を決めた理由は何ですか？

将来はエンジニアになりたいと思い、工業大学への進学を希望。福工大のオープンキャンパスにも訪れ、設備の充実度や先輩方の雰囲気の良さ、特に自分がやりたいことに向かって頑張っている人が多いな、という印象を受けたのが進学した理由のひとつです。また、大学では海外留学を経験したい！と思っていたので、さまざまな留学プログラムがある福工大に魅力を感じました。

実際に海外留学に行ってどんな経験をしましたか？

1年の夏にカリフォルニアの提携大学へ留学。現地ではシリコンバレーの企業訪問をしたり、経営者の話を聞いたりと、将来のキャリアについて考えることが出来ました。3年次にはフィリピンとオーストラリア、4年次には韓国にある提携校、慶成大学のインターナショナルサマーキャンプに参加。こうした経験を通じて、将来、国際的な舞台で活躍するための英語力やコミュニケーション能力を身につけることができました。

夏に参加したインターナショナルキャンプ。20日間の韓国留学では、韓国の文化を学んだり、語学の勉強も。

留学・国際交流を通して身につけた力で外資系企業の内定を獲得。

国際交流サークルへの参加や英語力アップのための活動も

国際交流サークルFIT ICE※に参加しました。FIT ICEでは、日本人と留学生を繋ぐ国際交流イベント「カルチャーフェスティバル」を企画運営したり、地域や他大学、行政と連携して家庭のごみの出し方の英訳などの活動を行いました。この他「FIT TALKS」という英語のプレゼン大会もあり、国際戦略室でレッスンや原稿チェックを受け、「ソーシャルネットワークのインスタグラムが及ぼすマナー的な影響」というテーマでプレゼンし、最優秀賞を頂きました。

留学経験や国際交流活動は就職活動でも活かされましたか？

留学、FIT ICEなど常にグローバルな環境の中で、コミュニケーション能力やリーダーシップを発揮できたことは、強みになったと思います。外資系企業から内定をいただき、卒業後はITスペシャリストとして働く予定です。こうして夢に向かって一歩一歩前進して、成長できたのも福工大へ進学したからこそだと実感しています。

FIT ICEの活動として、他大学と連携した「カルチャーフェスティバル」の運営に携わりました。

FIT Support

グローバルな人材を育成する国際プログラム

福工大では段階的に学べる国際プログラムを実施。STEPプログラムの後、伸ばしたい力・達成したい目的に応じて「語学」「キャリア」「学術」から選択し、効率的に必要に応じた英語力を伸ばします。

STEP
Short Term Experience Program
体験型海外プログラム
→ 語学 / キャリア / 学術

※プログラムにより奨学金支援有

※FIT ICE：FIT International Cultural Exchangeの略

伸ばせ 自分"力" vol.3

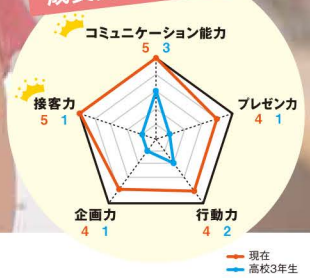
社会環境学部
社会環境学科 4年
白土 むつみさん
（福岡県 八幡南高校 出身）

第一生命保険株式会社 内定

まっすぐに目を見てにこやかに話をする姿が印象的な白土さん。希望した会社への内定も決まり、働くことが楽しみで仕方ないのだそう。

「自然環境について学んでみたい」
大学進学後、学びはもちろん、
広報活動という夢中になれることに
出合えた白土さん。
活動を通し、何を得たのか聞いてみました。

成長実感チャート



大学の広報活動でなりたい自分に近づいた！

法律・経済・社会生活の3つの学びが、環境に対する興味を深めてくれた。

大学へ進学後、学びたいことがあったとか

幼い頃から節電や節水といったエコ活動に興味があり、自然環境を守るためには何が必要なのかなどもっと詳しく学びたいと思うようになりました。福工大は理系の大学ですが、環境について学べる文系の学部もあることを知り、進学を希望。社会環境学部は環境はもちろん、法律や経済など幅広く学べるところに魅力を感じました。

実際に学んでみてどうですか？

法律、経済、社会生活って、全く違うことのようですが、3つの分野が繋がっていて、学べば学ぶほど奥の深さを実感。ゼミでは法律に関することを学んでいます。ゼミ生同士でレポートを作成し、ブレインストーミング（ブレスト）を繰り返すことで自分の意見を述べることに自信がつきました。また、大学は課題がとても多いのですが、その中で段取りを決めて行動する力が身につき、お陰で4年間学業特待生でいるという目標を達成することが出来ました。

一つのテーマに対して複数の人が自由に意見を出し合う「ブレスト」。新しい発想や問題解決法を導きます。

FIT隊として取り組んだ経験が成長につながり、人見知りの私が営業職に。

大学の広報活動にも参加されたそうですね

大学ではいろいろな人と出会い、話をしてみたい！と思っていました。入学してすぐに広報課の方に「FIT隊の活動をやってみない？」と声をかけられ、迷わず引き受けることに。FIT隊は、大学の広報課と連携して活動する学生組織で、学生が中心となって企画・運営を行います。主な仕事はオープンキャンパスですが、毎年テーマを決めて、来場者が増える仕組みを考えたり、イベントがスムーズに進行できるよう、来場者のサポートなどを行います。私は誘導部門のリーダーを務めました。

大学での経験は今後の力になりそうですか？

新入生への説明会や歓迎イベントなどを仲間と考え、広報課へプレゼンするために人生で初めて企画書を作るなど、貴重な経験ができました。内容や伝え方など、いろいろなアドバイスもいただき、これからに活かせそうです。この経験から「たくさんの人と話したい」と思うようになり、営業職に職種を絞るきっかけになりました。無事に内定もいただき、今から働くのが楽しみです。

FIT隊として活動したオープンキャンパス。当日は隊員への指示もあるので大変だけれど自信がついたそう。

FIT Support 「就職に力を入れている大学」九州私大1位のサポート体制

1 学科別の個別指導
学科別に専属相談員を配置し、履歴書の添削指導や模擬面接などの対策を実施。

2 合同企業説明会
大学独自で開催する合同企業説明会には年間で全国から約1,100社が参加。

3 就活のための交通費支援
県外での就職活動にかかる交通費や宿泊費の一部を大学が負担する制度あり。

※この冊子のすべての記事は2018年9月に取材したものです。

伸ばせ自分“力” vol.4

情報工学部
情報通信工学科 4年
越智 章仁さん
（福岡県 朝倉高校 出身）

西日本電信電話株式会社（NTT西日本）内定

落ち着いた雰囲気で丁寧に話をする越智さん。自治会の活動に1年から参加したことで、人前で話をしても全く緊張しなくなったそう。

通信に関する専門知識と技術を身につけようと入学した大学。そこで学生自治会と出合い、学びだけでなく「自分力」を高めた越智さんが実行したことについて聞いてみました。

成長実感チャート

勉強と学生自治会活動への全力投球が『自分力』を高めた

「災害に強いインフラを整える」将来の目標に向かって限界にチャレンジ。

大学では通信について学びたいという目標があったとか

高校生の時に携帯電話が普及し、最初にスマホを手にした時は、簡単に多くの情報が手に入ることに驚き、興味を持ちました。私はスマホ本体というより通信の方により興味を持ち、電波塔の設備や管理などについてもっと知りたい！と思い、情報通信工学科への進学を希望。最近は自然災害も多く、災害に強い通信インフラの設備に携わる仕事がしたいと思うようになりました。

1・2年生の時に上限を超えて単位を取られたそうですが

情報通信工学科の学びの中で通信の歴史を知り、理論と実践両面から知識を深めることの楽しさを感じました。そこでとにかく勉強をがんばる！という目標を立て、1年の内に可能な履修登録上限を超えての単位取得を試みました。学費が同じなら、沢山単位を取って沢山知識を吸収したいと思ったんです。現在は「第一級陸上無線技術士※」の資格取得を目標に勉強中です。

学生だけでなく幅広い年令の方が参加する学園祭。仲間たちと連日遅くまで準備に追われたそう。

「一大イベントを成功させる」さまざまな経験を通して身についた力。

学び以外でも夢中になれることに出会えたそうですね

1年の時から主に学園祭の運営を行う学生自治会の一員として活動し、3年では局長を務めました。年に一度の一大イベントを成功させるため、スタッフ間の意思疎通や段取りの調整など、仕事は盛りだくさん。さらに、3年になると大学のスタッフや協力してくださる企業の方とのやりとりなど、仕事として取り組まねばならないことも多く、局長としてさまざまな場面で決断を迫られることもありましたが、この経験でコミュニケーション力だけでなく、マネジメント力なども身についたと実感しています。

そうした経験は自分への自信につながりましたか？

勉強と学生自治会の活動を両立させるのは大変でしたが、この経験は達成感と共に自分に自信をつけてくれました。就職活動でも緊張することなく積極的に発言でき、NTT西日本からの内定をいただくこともできました。入学当初に掲げた「災害に強いインフラを整える仕事がしたい」という将来の夢に、一歩近づけたような気がします。

大学に入って、携帯電話などの通信系にはさまざまな歴史と発展があったことを知り、驚いたそう。

FIT Support

正課・正課外で豊富な資格サポート

正課カリキュラムによる資格取得に加え、情報工学部共通の情報系資格取得講座やエクステンションセンターなど、正課外でも豊富な資格取得サポートを行っています。

＜資格取得を支援するエクステンションセンター＞
- 学内での受講が可能　・受講料が安い
- 試験や行事と両立可能なカリキュラム
- 専門学校の講師を招いた質が高い授業
- 大学の特別補助による講座や検定試験

※2019年3月取得済

伸ばせ 自分“力” vol.5

情報工学部
システムマネジメント学科 4年
島崎 早智さん
（徳島県 城南高校 出身）

三和シヤッター工業株式会社 内定

キリッとした表情でわかりやすく自分の考えを語る島崎さん。「話し下手だった」という昔の面影は、今の彼女からは全く感じられません。

「自分を変えなくてはいけない！」と、強く意識するようになって、さまざまな活動に参加し、主体的に行動するようになった島崎さん。彼女をここまで変えたのは何か、どんな風に成長したのかを探ってみました。

成長実感チャート

周りに流されるだけの自分から、新しい自分へ

「キャリア形成」で人生を振り返ったことが自分を変えるきっかけに。

大学の学びで、大きく影響を受けた授業があるそうですね

自分自身の将来設計を考える1年次必修科目「キャリア形成」の授業です。自分の人生を振り返りながら作成した人生年表グラフがあまりに平坦で。今まではただ流されるままで、自分の意志で何も決めていなかったことがわかり、『自分を変えなくてはいけない！』と強く思いました。自分から動くことを意識するきっかけを与えてくれたのがキャリア形成の授業でした。

人生を振り返ったことで、主体的に行動を始めた

まずCSと呼ばれるクラスサポーター活動に挑戦しました。CSはアクティブラーニング型授業を効果的にするため、下級生へのアドバイスやグループワーク補助などの学修サポートを行います。以前は人前で話すことが苦手でしたが、CSに携わったおかげで人前で話す力やコミュニケーション力はずいぶん身に付いたのではないかと実感しています。

ハワイ大学では連日のディスカッションや授業で英語漬けの日々が続き、密度の濃い5日間を過ごしました。

学生FDや留学など多くの経験を通じて、成長を実感！

CS以外にもさまざまな活動に参加されているそうですね

2年生の時にリーダーシップを学ぶための海外留学プログラムに参加。ハワイ大学で5日間授業を受け、語学力の他にコミュニケーション能力も身につきました。
また、3年生からはFIT-joinという組織で授業改善に学生の視点から協力し、学生FDサミットや広報誌の制作などに協力しました。この他、高齢者の歩行を仮想体験し交通事故抑止に繋げるVRシミュレータを、福岡県警と連携して開発し、その研究をまとめた論文が文科省主催の「サイエンス・インカレ」でファイナリストとして採択されました。

学びや活動を通じていろいろな力が身についた

さまざまな活動を通じて、授業を受けるだけの学生生活に比べたら沢山のことを学びましたし、いろいろな角度から物事を考えられるようになり、就職試験の面接でも自信をもってアピールできました。この4年間で身につけた大きな力を糧に、これからも自ら行動することを忘れず、成長していきたいと思っています。

学生FDとして、企画だけでなくイベントの運営や司会進行などもこなします。

FIT Support

学生が大学の教育に参加する『学生FD』

福工大における学生FD活動は、教員・職員・学生の三位一体で授業を改善・向上させようとする取り組み、およびそれに関わる活動です。学生FDスタッフ（FIT-join）は、本学の授業改善を学生の視点から教職員と一緒に考え、教職員と学生をつなぐ活動によって福工大での「学びのコミュニティづくり」の役割を担っています。教職員と学生の座談会や広報誌発行など、さまざまな企画・運営活動を行っています。

FIT力2018

※この冊子のすべての記事は2018年9月に取材したものです。

伸ばせ 自分“力” vol.6

大学院
工学研究科 修士課程
生命環境科学専攻 1年
佐世 美帆さん
（福岡県 福翔高校 出身）

高校時代から化学の実験に興味があったという佐世さん。今でも周りが見えなくなるほど研究に没頭してしまうのだとか。

「生命の起源を探ってみたい！」
研究がしたくて進学した大学院で
夢中になれる研究テーマに出会った佐世さん。
化学が好きだった女子高校生が国際学会で受賞
するまでに成長した秘密について聞きました。

成長実感チャート

とにかく研究が好きで大学院へ。1年後には国際学会で受賞！

研究に没頭して大ピンチ！猛勉強で大学院進学＆難関資格をクリア!!

福岡工業大学への進学を決めた理由を教えてください

高校の先生の影響で化学が好きになり、大学で本格的に化学を勉強したくて化学メインで他の国公立大学を受験したのですが、ダメだったんです。その後、福工大のパンフレットを見た時に、4年間の学びのイメージが湧いてきて進学を決意。生命環境化学科は化学に加えて、環境学も学べますし、入学して良かったなと思いました。

なぜ、大学院へ進学しようと思ったのですか？

もっと研究を深めたいと思う出来事があったからです。ひとつは1年生の後期に履修した、アドバンス科目。もうひとつはBIOMODという国際的な競技会にむけた、学科の先輩たちの実験を手伝う機会があり、実験や先輩たちとのディスカッションが楽しくて、テスト勉強が疎かになるほど研究に熱中。その後は大学院への進学を真剣に考え、危機感を持って勉強に励み、大学院進学の推薦枠を貰うことができました。

「エレクトロニクス研究所計測センター」では国内有数の高性能分析機器を使用して研究を進めます。

夢中で取り組んだ研究が国際学会で最優秀学生ポスター賞を受賞。

大学院ではどのような研究をしているのですか？

アミノ酸前駆体から合成されたアミノ酸重合体の構造解析を行っています。生命の起源を分子レベルで解明する研究で、中でもアミノ酸がつながるために必要な「熱」に着目し、原始の地球という特殊な環境、隕石の衝突や火山活動、高温の大気の中で熱がアミノ酸前駆体に加わってどう高分子化するのかを解析・実証する実験をしています。古くからある研究内容でも新しい結果が出たりすると、自分がその分野を切り拓き、貢献できているというやりがいを感じます。

この研究内容が国際学会で評価されたとか？

ホノルルで開催された「アジア・オセアニア地球科学会」の生物地球科学部門で、最優秀学生ポスター賞を受賞しました。この時は英語での質疑応答が不安だったので、発音の練習や論文の添削など、国際戦略室のネイティブスタッフに協力していただき、本番は自信をもって英語で対応することができました。今後も生命の起源の解明に近づけるよう、研究を深めたいと思います。

約3,500名が参加した第15回アジア・オセアニア地球科学会。研究内容が高く評価され、賞を獲得しました。

FIT Support 授業料免除など大学院での研究をバックアップ

学部で培った知識を大学院でさらに磨けるよう、独自の制度やプログラム、施設設備を整えています。

- 国内外の学会への参加旅費・宿泊費を支援する「学会出席旅費など補助制度」
- 「学業特待制度」など経済面の支援
- 海外で学ぶ大学院キャリア形成プログラム
- 「エレクトロニクス研究所」をはじめとした施設設備

学生の学び・成長をサポートする

充実の施設設備・制度

福岡工業大学には、学生が快適に過ごせる設備と環境が充実。
また、自ら学ぶ力を身に付け、実社会で活躍できる
実践型人材を育成するための制度も整っています。

ICTを活用した図書館

学生同士が自由に学び合う空間や、一人で集中できる個室ブースなど用途もさまざま。ハイスペックPCやソフトウェアも充実しています。

情報基盤センター

高性能パソコンや超高速ネットワークなど、すべての学生に最先端のICT学習環境を提供しています。

計測センター

主にエレクトロニクス分野の研究を行うエレクトロニクス研究所の計測センターでは高度な研究を可能にする各種計測機器を卒業研究・大学院での研究に使用可能。

i-TechLAB（FITポケットラボ）

研究テーマを自分で設定し、先輩や教授のアドバイスを受けて1年次から実験や研究を行うことができます。文部科学省主催の「サイエンス・インカレ」の参加も多数。

課題解決型学習（PBL）

企業や自治体が抱える問題や課題を「発見」し、それに対する調査・分析・ディスカッション・グループワークを通して「解決」のための経験や知識を体得します。

学生が主体的に運営する組織

福岡工業大学には、クラブやサークルとは別に学生が自ら運営する組織が複数活動しています。学生自身が主体的にさまざまな活動を行うことで社会に出てから役立つ力を養います。

入試による奨学制度　合格者8名に1名の高い奨学生比率！

521名採用
（2019年度入試実績）

福岡工業大学には、受験勉強を頑張ってきた成績上位者を対象に授業料を免除する奨学制度があります。
4年間の授業料全額免除の場合、国立大学の学費よりも安くなります。
※但し、学業成績が一定に満たない場合などは取り消されます。

3教科型入試 センター併用型入試 センター試験利用入試（前期・中期）	4年間の授業料 全額免除145名	[工学部・情報工学部]免除額3,320,000円→4年間の学費合計1,809,300円 [社会環境学部]免除額2,680,000円→4年間の学費合計1,057,300円
3教科型入試 センター併用型入試 センター試験利用入試（前期・中期）	4年間の授業料 半額免除176名	[工学部・情報工学部]免除額1,660,000円→4年間の学費合計3,469,300円 [社会環境学部]免除額1,340,000円→4年間の学費合計2,397,300円
公募制推薦入試 3教科型入試 センター併用型入試 センター試験利用入試（前期・中期）	1年間の授業料 半額免除200名	[工学部・情報工学部]免除額415,000円 [社会環境学部]免除額335,000円

全国レベルで高い評価を得ています！

就職に力を入れている大学	面倒見が良い大学	改革力が高い大学	小規模だが評価できる大学
九州の私大 1位※	九州の国公私立大 1位※	九州の私大 1位※	九州の私大 1位※
全国9位	全国6位	全国25位	全国12位

※大学探しランキングブック2019　全国の高等学校の進路指導教諭対象に調査

For all the students
FIT Fukuoka Institute of Technology 福岡工業大学
工学部・情報工学部・社会環境学部（文系）／大学院／福岡工業大学短期大学部
〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30番1号 JR鹿児島本線「福工大前駅」より直結
福工大